

こわだ防災

Vol.7 2019年11月
小和田地区自治会連合会

第20回 小和田地区防災訓練

2019年10月27日(日)実施

今年は 台風 15 号・19 号が関東地方に猛威をふるい、甚大な被害を及ぼしました。連日のニュース報道に、皆さまも防災に対する関心が一段と増してきていることと思います。

小和田地区の防災訓練も、今年 20 回を迎え訓練内容も向上してきました。特に中学生の若い力が加わり、活気ある訓練となりました。当日、防災対策課・配備職員・消防分団・教職員・医療生協等の皆様にご協力いただきました。参加者は 470 人でした。

訓練種目

- ①避難所立ち上げ運営訓練
本部と各班（トランシーバー交信訓練）
- ② 応急救護訓練（三角巾の使い方）
- ③ 応急救出訓練（搬送法）
- ④ 水消火器訓練
- ⑤ 移動式ホース格納箱取扱い訓練
- ⑥ 避難誘導訓練（トランシーバー交信訓練）
- ⑦ 給食訓練
- ⑧ テント組立収納訓練
- ⑨ 体験コーナー（起震車体験・濃煙体験）
- ⑩ 災害時のペットの防災対策についての話

開会式



佐藤市長



新倉連合会長



災害時のあなたとペット

今回 ペットの防災対策について、市の保健所の担当者からご指導いただきました。
※ペットを守るのは、飼い主。避難する場合はペットと一緒に（同行避難）が基本です。
避難先では 周りの人へ迷惑かけず安心して過ごせるように日頃から心構えと備えが大切。



地震や煙の 怖さを知ろう…体験コーナー

濃煙体験

中に入ると、煙・煙・煙・なかなか前へ進めません。煙の怖さを実体験。



起震車体験

震度7の体験。とても、立ってられません。机の脚にしがみつくのがやっと・・・





応急救護訓練（三角巾の取り扱い方）
災害時に、負傷者を医療機関に搬送するまでの、応急手当、応急処置の為の三角巾の使い方を習得する訓練。

応急救出訓練（搬送法）

負傷者の救護のため、身近に在るものを使って、安全な場所や医療機関へ搬送するまでの搬送法の訓練



移動式ホース格納箱取扱い訓練

二次災害で、特に恐ろしい火災の延焼拡大を防止するため、指定場所に設置された移動式格納箱からホースを取り出し、消火栓につなげて消火作業を行う初期消火の重要な訓練



水消火器訓練

キッチンなど、身近な場所で起こる火災の延焼拡大を防止するため、家庭に設置されている小型消火器を使って、初期消火訓練



避難誘導訓練（車椅子を使って）

【広域避難場所】【津波一時退避場所】として指定されている赤羽根中学まで、車椅子で避難。中学生のみんなが力を合わせて坂道もすいすい。トランシーバーも感度良好でした。



給食訓練

避難場所における、避難者への給食を作る訓練。人数の把握、衛生面に気を付け、決められた材料を使って、等しく全員に行きわたるよう配慮し、一定の時間内で作る重要な訓練です。

